

平成30(2018)年度事業報告書

社会福祉法人シャローム福祉会
指定就労継続支援B型事業所 シャローム

<概要>

2018年度は職員体制が大きく変わり、利用者支援にかかわる環境も変化しました。また、報酬改定によって収入が大幅に減少しましたが、人件費や事務費等の経費が削減され、一年間の運営費用をまかなうことはできました。しかし、グループホーム建設等今後の事業を展開させるうえで、財政基盤の弱さが課題となります。一方、人材の面では、2019年6月の役員改選に向けての人選、会計業務の外部委託を進めました。

1. 重点課題

(1) 管理者の変更にともなう職員体制の変更

2018年度から、サービス管理責任者が管理者を兼任しました。

2017年度まで非常勤だった生活支援員1名が常勤になり、利用者支援にあたる職員は、常勤の職業指導員と生活支援員が各1名、非常勤の生活支援員1名（常勤換算0.4）の体制になりました。職員全員が2ヶ所の作業場で活動の支援にあたってきました。

また、非常勤の会計担当者が12月末で退職しました。管理者と職業指導員がその役割を分担する間に、会計業務の外部委託先の選定をすすめ、2019年度からは外部の専門家によるチェック体制が敷かれることとなります。

(2) 工賃支給額の維持・向上

2018（平成30）年度の報酬改定によって、就労継続支援B型サービスでは、工賃支給額が訓練等給付費の単価を決めるようになりました。工賃は、利用者の生産活動の成果であると同時に、事業所の収入を左右する基準になっています。利用者の心身と職員の職務に過重な負担がかからない範囲で作業を選んできたシャロームでは平均工賃月額3,000円台であり、重度者支援体制加算を算定しているため平均工賃月額に2,000円がプラスされますが、2017年度と比較して7.8%の減収となりました。

2018年度の平均工賃月額は3,245円となり、前年度と同程度の収入は維持できました。しかし、2019年度に増収につながるほどの工賃支給額の向上はなく、今後も困難が予想されます。

(3) 利用者の高齢化への対応と新しい利用者の確保

利用者の高齢化は、個人差も大きいと思われませんが、動くことを億劫がる場面が年々増えているのは実感としてあります。特に、この7月から9月にかけては、猛暑のために外出する機会が減ったり、台風や大雨のために心身両面から不安定になる利用者も増えてきました。それらが加齢と合わさって、さらなる体力の低下につながらないように、室内で体を動かす機会を作り、こまごまとした日常動作を面倒がらないよう意識的に声をかけ、作業の合間に体操の時間を設定する等の対応をしました。これらが功を奏したのか、気候による一時的な不調だったのか、10月以降は再び落ち着きと活力を取り戻しています。しかし今後も、身体を動かすことを意識的に増やす必要があると思われま

一方、視力・聴力の低下などが顕著で、これまでできていた作業ができなくなりつつある利用者もいます。視力・聴力の低下は本人の安全にもかかわるため、自覚をうながしつつ、本人がやる気を失わないように「できる作業」を探しています。

新しい利用者については、特別支援学校3年生の見学・実習を受け入れましたが、利用契約にはつながりませんでした。

(4) 一泊旅行

夏季休暇中の8月16・17日に香川県高松市の塩江温泉に行きました。4年前と同じホテル・セカンドステージに宿泊し、異なる体験プログラムを楽しみました。

今年度の旅行は、家族もいっしょに楽しむことを目的にし、早い時期から参加者を募集しました。しかし、「旅行は行かない」と決めている利用者以外に、利用者自身の健康上の不安や家族旅行など、長期に休む時期と重なり、予想していたほどの人数は集まりませんでした。

(5) グループホーム建設のための資金調達と人材確保

グループホーム建設のためにと用途を指定された寄付金を建設積立金にしました。

(6) 地域とのより良い関係を築く運営のあり方の検討

六番町の第二作業場（以下「雑貨屋さん」とします）で開催した5月のイベントでは、たくさんの方々とお話する機会がありました。その際、職員の言動や、職員と利用者との関係の取り方などを地域の方々によく見ておられることを実感し、反省させられる点も多くありました。

シャロームが誰かの日常の風景の中にあることを忘れず、その人その人の信頼を得られるような、日々の実践を重ねていくこと。まず、職員は、自分の言動を見直すための第三者的な視点を意識するように心がけます。そのうえで、事業所・法人として地域のためにできることを考えたいと思います。

2. 法人の活動

(1) 理事会の開催

- ・第47回（2018年6月2日）：2017年度事業報告および決算報告
- ・第48回（2018年10月27日）：2018年度上半期事業報告
- ・第49回（2019年3月2日）：2018年度補正予算、2019年度事業計画および当初予算等

(2) 評議員会の開催

- ・第44回（2018年6月23日）：2017年度事業報告および決算報告
- ・第45回（2019年3月23日）：2018年度補正予算、2019年度事業計画および当初予算

(3) 監事監査の実施

2017年度の計算書類について監事監査が2018年5月23日(水)にありました。

(4) 監事研修

2019年2月18日の監事研修に泉監事が参加しました。

3. 事業所の活動

2018年度の始まりは、職員体制が変わり、プログラムも変わり、季節は春でテンションが上がる時期であり、まずは、利用者が変化を受け入れることが課題でした。そのため、5月中旬に雑貨屋さんでのイベントを企画し、4月は全員でその準備に取り組む形をとりました。準備期間からイベント当日、後片付けまでが利用者が気持ちを切り替える時間となり、新しい体制はスムーズに受け入れられたように思われます。イベントの後片付けも一段落した6月ごろに、家族との面談の場を設け、自宅での様子も確認しました。

作業としては、ほぼ全員が五番町と六番町の両方で活動するようになり、六番町では雑貨屋さんとハーブガーデンを行き来する利用者も増え、体調や作業内容に合わせて自分の仕事を選ぶ様子が見られるようになりました。夏の猛暑や大雨のために、六番町に行く機会が減り、一旦、仕事のリズムが崩れてしまいましたが、秋から春にかけては、六番町での作業の密度を高めました。

また、2017年度までは月1回だった自治会は、週1回の開催となりました。回数を重ねるごとに話し合いに慣れてきて、心的ストレスも少しずつ小さくなり、その場にいられる人数や時間が増えてきました。これまで同様、議題を見つけることに苦労はしていますが、話し合いが始まると、職員が手伝う回数は減っています。一人一人がそれぞれのやり方で「なんとかしよう」と思っている雰囲気ができています。

(1) 利用者数

- ・2018年4月の登録者数は14名。2019年3月末日時点で13名。
- ・うち2名は他の日中活動の事業所と併用し、それぞれシャロームを週2日利用しています。
- ・病気療養中の利用者は治療が一段落した9月下旬から、週1日を目標に通所し始めました。
- ・家族旅行のために1ヶ月以上休む利用者がいました。
- ・1名が12月に契約終了となりました。

		開所日数	平均利用者数	在籍利用率
平成29(2017)年度	4月～9月	119日	11.8名	84.3%
	10月～3月	119日	10.7名	76.1%
	年間	238日	11.2名	79.8%
平成30(2018)年度	4月～9月	123日	10.3名	73.6%
	10月～3月	121日	10.2名	75.8%
	年間	244日	10.3名	74.7%

(2) 職員体制・勤務体制

2019年3月末日における職員体制は、管理者およびサービス管理責任者（常勤兼務）1名、職業指導員（常勤専任）1名、生活支援員（常勤専任）1名、生活支援員（非常勤専任）1名で、必要に応じて非常勤職員の出勤日を増やしました。

(3) 開所日・開所時間

- ・月曜から金曜の午前9時30分から午後4時がサービス提供時間。
- ・昨年度まで自治会の時間だった第2水曜の午後1時から、「フリータイム」として様々な活動に使い、午後2時に解散しています。第4水曜は午後1時解散です。
- ・夏季休暇と冬季休暇は9日間ずつ取りました。夏季休暇中に一泊旅行を行いました。

(4) 利用者支援

1. 日課

9:00～9:30	準備・記録	13:00～	作業・体操
9:30～	作業・さんぽ	15:00～	お茶・記録
12:00～	昼食・昼休み	15:25～16:00	そうじ・着がえ

2. 生産活動

- ①自主製品の制作：紙漉き、ビーズ小物、ハーブを使った香り玉・におい袋
- ②園芸活動 ③自主製品等販売
- ④印刷・製本・発送作業 ⑤チラシの糊付け・紙折り ⑥三角くじ ⑦割箸の袋入れ

3. 工賃支給

- ・ 3ヶ月分ずつ、7月・10月・12月・3月に支給しました。
- ・ 「休まず出勤すれば月額3,000円以上の工賃」になるように分配しました。

4. 避難訓練

- ・ 火災を想定した避難訓練を行いました。6/1（五番町）、9/3（五番町）
- ・ 6/18の大阪北部地震の後、一人で通所する利用者を中心に、それぞれの通所経路を聞き取り、連絡方法の確認をしました。
- ・ 台風21号のために9/4を休業しました。その連絡を前日にSMSを使って一斉発信し、緊急連絡の練習としました。
- ・ 南海トラフ地震津波一斉避難訓練（11/5）に参加し、全員で六番町からの避難経路を歩いて確認しました。
- ・ 神戸市シェイクアウト訓練（1/17）に参加しました。事前学習として、それぞれの自宅やシャロームの非常食や食料備蓄について確認しあった後、五番町からの避難訓練を行いました。

5. 販売活動

日付	イベント	主催等	場所	参加者
5/11(金) 5/12(土)	第6回 楽楽フェスタ	シャローム	六番町の雑貨屋	利用者 延べ18名 職員4名
7/7(土)	S Oふれあい夏祭り	スペシャルオリ ンピックス 神戸	西神南・星の広 場	荒天のため 中止
10/27(土)	みらいおもいけ フェスタ	みらい おもいけ園	みらい おもいけ園	利用者7名 職員3名
11/11(日)	一七市拡大版	一七市実行委 員会	新長田・鉄人広 場	利用者4名 Vo.4名 職員3名
2/28(木) 3/1(金)	ひとまち出会い フェスティバル	長田公民館	長田公民館	利用者 延べ12名 職員4名

6. レクリエーション

全員参加のものと、希望者のみ参加するものがあり、少人数での外出の機会を多くしました。

日付	イベント	主催等	場所	参加者
4/11	サッカー観戦		ノエビア スタジアム	利用者1名
6/7	カラオケ	シャローム 自治会	新長田	利用者9名
7/31	お店でランチ	シャローム	プレノ長田	利用者10名
8/2	西神戸教会こどもの教会 交流会	こどもの 教会	西神戸教会 神戸市垂水区	利用者7名
8/22、 8/29	WAKKUNの個展		三宮	各日 利用者2名
10/10	レトロアニメ上映会	シャローム	シャローム	利用者10名
11/20	船を見にいこう&ランチ	シャローム 自治会	メリケンパークと モザイク	利用者10名
11/21	平井さんとお茶会	シャローム	シャローム	利用者9名 Vo. 1名
12/20	クリスマス会	シャローム	ふたば学舎	利用者12名 家族10名 役員・Vo8名
12/27	お店でランチ	シャローム	プレノ長田	利用者7名
1/4	初詣	シャローム	長田神社	利用者4名
1/17	1.17KOBEに灯りを inながた		新長田駅前	利用者2名
1/23	カラオケ	シャローム 自治会	新長田	利用者10名
3/6	平井さんとお茶会	シャローム	シャローム	利用者10名 Vo. 1名

休日のレクリエーション

/22	サッカー観戦		ノエビア スタジアム	利用者1名
7/29	女子会・ランチと買い物		ハーバーランド	利用者4名
8/16 8/17	一泊旅行・塩江温泉	シャローム	香川県高松市	利用者8名 家族2名 Vo2名
9/17	お好み焼きパーティ～作って、 食べて、片づけて	シャローム	シャローム	利用者9名
9/29	サッカー観戦		ノエビア スタジアム	利用者1名
11/22 ～23	宿泊体験・西脇	シャローム	西脇市	利用者3名

その他に、井筒和夫理事と野球観戦に行きました。

7. 健康診断

・2/14に7名が健康ライフプラザで受診しました。

8. 調理実習

- ・毎週火曜日。
- ・第2金曜・第4木曜は保護者による調理実習。8月は休止しました。
- ・一人調理実習は、新しいことに慣れた下半期に2名が取り組みました。

9. 自治会

・毎週火曜日、調理実習の前の30分間に利用者同士での話し合う機会としました。

(5) リスクマネジメント

1. 苦情解決

2018年度は苦情はありませんでした。

2. 事故報告

神戸市に事故報告書を提出した事故が1件ありました。

利用者1名が帰宅するために建物内の階段を下りていた際、最後の2段で足を滑らせて顔面を床にこするように転倒。擦傷を水で洗い止血しつつ、家族と電話で相談し、職員が本人のかかりつけ医に搬送しました。幸いなことに、擦傷の他は脚の軽い打撲ですみました。

(6) その他

2/8開催の保護者会では、2019年度の事業計画等について意見をいただきました。

4. 職員関係

(1) 研修・講習

日付	研修内容	主催等	場所	参加者
4/18	事務職員講座①超初級編	市民福祉大学	市民福祉交流センター	笹倉正
5/17	新任職員対象・業務の進め方研修① 他人に伝わる記録の書き方	市民福祉大学	市民福祉交流センター	笹倉正
5/22	監査指導説明会・研修会	神戸市監査指導課	神戸文化ホール	笹倉
5/26	長田区自立支援協議会全体会	長田区自立支援協議会	長田区役所	玉井

6/27 ～28	防火・防災管理責任者講習	(一財)日本防 火・防災協会	長田消防署	笹倉
10/31	「企業の人から聞いてみたい」～精 神・発達障害の方の就労支援につい て～		神戸市勤労 会館	笹倉正
11/30	虐待防止研修「良かれと思って」		神戸育成会 館	笹倉正
2/19	地域生活チャレンジ研修 「障がいのある方の意思決定支援」 ～本人の思い、気づけていますか～	神戸市地域支援 機能強化事業受 託事業者	神戸市総合 福祉センタ ー	笹倉正
3/25	事業者説明会	兵庫県・神戸市	アルカイツ クホール	笹倉

自主研修

日付	研修内容	主催等	場所	参加者
6/11	6.9新幹線車内の事件～自閉症スペクトラム の人が事件を起こすメカニズムについて (長谷川博一)	輪読会	シャローム	職員4名
6/30	「ふつうのことを、ひとつずつ考える」 (立岩真也、岸政彦)		スタンダード ブックストア 心齋橋	笹倉
11/17 ～18	障害学会第15回大会	障害学会	クリエート 浜松	笹倉
1/26	芸術実践と人権～マイノリティ、公平性、 同意について～「記憶との対話～マイノリ マジョリテ・トラベル、10年目の検証」 (山田創平、長津結一郎、他)	京都精華大学	キャンパスプ ラザ京都	笹倉
2/2	安楽死のリアル・一つではない「良い死」 (立岩真也、宮下洋一、安藤泰至、他)	立命館大学 生存学研究セン ター	立命館大学朱 雀キャンパス	笹倉
2/9	「めぐるアートをめぐる」展 ～トークイベント「表現と支援について考 える」(新川修平、山下完和)	(一財)たんぼ ぼの家〔障害と アートの相談 室〕	京都場	笹倉
2/21	虐待防止研修	シャローム	シャローム	職員4名
3/9	差異と共生・なにがどう問題なのか (深田耕一郎、好井裕明、斎藤直子、他)	日本社会学理論 学会研究例会	関西学院大学 西宮キャンパ ス	笹倉
3/16	「社会的つながり」再考ー「個人から社会 へ」の社会福祉学 (桜井啓太、やがわ、さか、他)	「福祉の社会 化」研究会	関西学院大学 大阪梅田キャン パス	笹倉

(2) 健康診断

職員3名が全国健康保険協会の生活習慣病予防健診の一般健診を受診しました。

5. 地域交流

- ・子どもいちば：室内小学校、宮川小学校
- ・ボランティア体験：池田小学校
- ・長田ボランティアセンター（子どもいちば、一七市拡大版等）
- ・子どもいちば関係者連絡会
- ・一七市拡大版実行委員会 ・長田区自立支援協議会 ・五番町一丁目自治会
- ・長田区就労系事業所連絡会

6. 設備・備品

- ・車検を受けました（4月）。
- ・会計ソフトが新しくなりました（6月）。
- ・家族から、2階キッチンの流し台の寄贈がありました（10月）。